

該当学年	授 業 科 目 名	担 当 教 員	
1 部 1 年	幼児教育実習（教育実習Ⅰ）	担当教員	
サブタイトル	実践を通した幼稚園教育の基礎理解	単 位 数	5※
授業形態	演習	※幼児教育実習Ⅰ・Ⅱ、 事前事後指導 合計で5単位	
開講時期	通年	出席要件	
到 達 目 標			
1. 幼稚園において、幼児との遊びや生活を通して、環境や一日の流れを知るとともに、幼児の実態や発達の姿を具体的に理解することができる。 2. 学校で学んだことを実際の場面とつなげて考えることができる。 3. 幼児への働きかけや環境構成の在り方など、具体的な援助の方法について学ぶことができる。 4. 部分実習、ピアノ、バス乗車、未就園児の保育、個人行動記録、実習録などの課題に意欲的に取り組み、保育における実践力を身に付けることができる。 5. 実践を記録し、気付いたことを整理したり反省したりしたことを実践にいかしていくことができる。 6. 幼稚園教諭としての使命と役割について理解し、状況に応じて行動することができる。			
ディプロマ・ポリシー（専門士授与の方針）との関連			
1. 幼児教育実習を通して、幼児教育者としての情熱や責任感を身につける。 2. 幼児教育実習を通して、専門職に関する知識・技能及び表現力を習得する。 3. 幼児教育実習を通して、幼児教育者として豊かな人間性を身につける。			
授 業 の 方 法			
1. 幼稚園教育を理解するために、見学・観察実習を行う。 2. 保育体験プログラムで体験したことを生かし、自分の課題を自覚し解決方法を考えながら、幼稚園教師の役割・援助の在り方を具体的に学んでいく。 3. 部分実習指導案・実習録の記述の仕方・個人行動記録の仕方を理解する。 4. 模擬保育を実践し、幼児理解と指導法を体験する。			
テキスト・教材・参考図書			
テキスト：『聖徳大学幼稚園実習必携』 参考図書：『幼稚園教育要領解説』 文部科学省 フレーベル館 平成 30 年			
評 価 の 要 点		総合評価割合	
1. 事前・事後オリエンテーションすべてに出席すること。 2. 実習に際しては、決められた事項を遵守すること。 3. 提出物に関して期日を厳守すること。 4. 評価については、幼児教育実習Ⅰ・Ⅱの総合評価とする。		課題レポート 30% 実習録 30% 実習ファイル 30% 模擬保育の取り組み 10%	
履修上の注意事項や学習上の助言など			
1. オリエンテーションの欠席・遅刻、提出課題の未提出者は、実習配属を見送る場合がある。 2. 保育を学ぶ実習生としての自覚を持ち授業、実習に臨むこと。 3. 実習オリエンテーションの服装指定時は、フォーマルスーツで参加すること。 4. 幼児教育実習Ⅰを終了後、幼児教育実習Ⅱへすすむ。			

科 目 名 幼児教育実習（実習Ⅰ）（１部１年）

授 業 回 数 別 教 育 内 容		身につく資質・能力
1 回	ガイダンス 幼稚園教育の理解と幼児教育実習の意義や目的、心構え、事務連絡。	理解力
2 回	幼児の安全・人権・健康管理の理解。履修カルテの記入。	理解力 自己課題の明確化
3 回	児童文化財について理解する（絵本・紙芝居・エプロンシアター等）	理解力 観察力
4 回	部分実習指導計画の書き方 ・部分実習とは何かを理解し、指導計画作成方法を知り作成する。	理解力 記述力 表現力
5 回	見学実習を行うにあたっての心構え ・保育を見学し、幼児の実態・教師の役割等を理解するにはどうするかを理解する。	理解力
6 回	各園での見学実習に参加する 幼児の実態、環境等を知る	理解力 使命感 期待感
7 回	個人行動記録の書き方を理解する	理解力
8 回	実習録の書き方を理解する	理解力 記述力
9 回	・チューターによる実習録の指導 2年生による実習録の書き方を実際を見ながら指導を受ける ・幼児へのプレゼント作りの方法を理解する	実践力 表現力
10 回	保育実践＜模擬保育＞① ・作成した指導案に基づき、模擬保育を実践する。 保育実践の評価・反省①・模擬保育の指導法を評価・反省し、次の模擬保育に反映する方法を理解する。	表現力 省察力 自己分析力
11 回	保育実践＜模擬保育＞② ・作成した指導案に基づき、模擬保育を実践する。 保育実践の評価・反省①・模擬保育の指導法を評価・反省し、次の模擬保育に反映する方法を理解する。	表現力 省察力 自己分析力
12 回	保育実践＜模擬保育＞③ ・作成した指導案に基づき、模擬保育を実践する。 保育実践の評価・反省③・模擬保育の指導法を評価・反省し、次の模擬保育に反映する方法を理解する。	表現力 省察力 自己分析力
13 回	園長講話 ・附属幼稚園の沿革、幼稚園教諭とは、幼稚園教諭に必要な資質、実習を行うにあたっての具体的な注意点を理解する	理解力 使命感 期待感
14 回	個人面談 ・心構えや心配なこと、自己課題を自覚する	使命感 期待感
15 回	実習後指導 幼児の発達、幼稚園教諭の役割、保育の方法と援助技術、自己課題についてまとめる	理解力 省察力 自己分析力